

《担当者名》志水 幸koh@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

この講義では、社会福祉行財政に関する国、地方公共団体および民間の役割について概説する。また、社会福祉計画の意義、目的および方法について実践的に概説する。

【学修目標】

1. 社会福祉行政の実施体制について理解できる。
2. 社会福祉財政について説明できる。
3. 社会福祉計画について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	授業計画の概要と自己学習方法を理解する。	志水
2	社会福祉行政の実施体制	地方分権と社会福祉行財政との関連を理解する。	志水
3	社会福祉行政の実施体制	社会福祉行政における政府間関係を理解する。	志水
4	社会福祉行政の実施体制	社会福祉行政事務を理解する。	志水
5	社会福祉行政の実施体制	社会福祉行政の組織および団体の役割を理解する。	志水
6	社会福祉財政	国の財源を理解する。	志水
7	社会福祉財政	地方の財源を理解する。	志水
8	社会福祉財政	保険料財源を理解する。	志水
9	社会福祉財政	民間およびその他の財源を理解する。	志水
10	小括	社会福祉行財政の動向および社会福祉行財政の課題を理解する。	志水
11	社会福祉計画	社会福祉計画の意義と目的を理解する。	志水
12	社会福祉計画	社会福祉計画の主体と方法との関連を理解する。	志水
13	社会福祉計画	計画策定過程と評価との関連を理解する。	志水
14	社会福祉計画	福祉計画の実際との関連を理解する。	志水
15	まとめ	授業内容の要点を整理できる。	志水

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験により100%評価する。

【教科書】

社会福祉士養成講座：福祉行財政と福祉計画（第5版）．中央法規，2017年．

なお、この科目では、社会福祉原論の教科書として指定されている『国民の福祉と介護の動向』や『福祉小六法』も、あわせて教材として使用する。

**【参考書】**

社会福祉法令研究会編：社会福祉法の解説．中央法規，2001年．  
山口道昭編：地方自治・実務入門シリーズ 福祉行政の基礎．有斐閣，2016年．

**【備考】**

この科目は、社会福祉士・精神保健福祉福祉士国家試験受験資格取得のための「福祉行財政と福祉計画」に該当する。

**【学修の準備】**

この科目は、2年次に同時開講される社会福祉系の専門教育科目と密接な関わりを持つものである。そこで、予め当該科目で学んだ知識を整理しつつ、この科目で学んだ知識と関連づけながら体系的に理解した上で講義に積極的に参加する学修習慣が肝要である。また、報道等で取り上げられる社会福祉・社会保障関連の政策動向に注目し、その問題について深く考えてみる姿勢を身につける姿勢が大切である。

講義で提示する課題に関して、事前・事後学習（4時間）に取り組むこと

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。